

## さくらの景観まちづくり賞 建築物部門



「城下町らしさ」を

受け継ぎ、活かす

(新町・店舗兼住宅)



### 佐倉市景観審議会からの講評

#### 《特に優れているポイントなど》

- 店舗前面に駐車場スペースを確保する一方で、敷地境界に板塀を設置することにより、城下町で重要となるまち並みの連続性に配慮している。
- 黒を基調とした木材と漆喰風の白い壁とのコントラストが印象的。照明や建物の意匠、植栽など、細かなところにも配慮が感じられるづくり。
- 城下町の町割りの特徴である奥行きのある敷地形状を活用し、店舗空間と居住空間の使い分けが良くできている。
- 歩道そばに花の鉢を設置するなど、歩行者を楽しませようとする工夫もある。

#### 《今後期待されること》

- 門から店舗までの位置が遠いため、植栽や明かりの工夫などでつながりができると、より一層、景観としての一体感が生まれると思われる。
- 城下町のまち並みとしての連続性と、駐車スペースの確保の両立という視点では、道路に面したオープンスペースの利点を活かした様々な活用の可能性を探ることで、さらに生き生きとした景観を創造できる可能性がある。まち並みに配慮された所有者の方の地域への思いをさらに発展的に活かしていけるのではないかと思う。

## さくらの景観まちづくり賞 建築物部門



暮らしの中で育まれる

自然との調和

(寺崎・個人住宅)



### 佐倉市景観審議会からの講評

#### 《特に優れているポイントなど》

- 建物・庭園ともに地元産の自然素材にこだわり、素朴で柔らかな雰囲気デザインされている。
- 背景の山林、前面に視界が開けるといいうロケーションが建築と外構のデザインに活かされている。透過性がある低い垣根や、玄関のアプローチ、こだわりのあるデザインなどが周囲の景観とよく馴染んでいる。
- 庭木は、地元の山の落葉樹を中心に季節ごとの変化が楽しめるよう工夫されている。
- 建築家や造園家の仕事で完結するのではなく、日々手を加えながら生活することで、住んでいる人の思いの積み重ねが景観として現れている。

#### 《今後期待されること》

- 今後も周囲の景観と調和した雰囲気をつくり続けてほしい。
- 生活空間と周囲の景観との調和を意識し、暮らしながら良くし続けようとする姿勢を応援したい。
- 薪ストーブに使用する薪は地元の方とのつながりで入手されているとのこと。地域とのつながりのなかで育まれていくものを今後も大切にしていいただければと思う。

## さくらの景観まちづくり賞 建築物部門



田園風景と人との交流から

生み出される風景

(大佐倉・個人住宅 離れ)



### 佐倉市景観審議会からの講評

#### 《特に優れているポイントなど》

- 建物前面に広がる水田と、その先にある線路からの眺望を意識したと思われる配置。木材を活かしたシンボリックなデザインとなっている。
- 特徴的なデザインながら、採光を考慮した明るい印象で、田園風景との調和を図っている。
- 人が集まる場としても活用されており、建物と人が集う風景がセットとしてイメージできる。

#### 《今後期待されること》

- 現時点では、建物単体の印象が強く残る。今後は、植栽や舗装、敷地境界等を工夫しながら、主屋との連続性や竹林や沿道、水田など周辺との景観的なつながりを醸成していくことが望まれる。
- 活動を継続的に行いながら、地域を巻き込んだ「人の集う風景」として育まれていくことが期待される。

## さくらの景観まちづくり賞 建築物部門



古いもの、新しいもの  
調和と継承とのバランス

(西御門・個人住宅)



### 佐倉市景観審議会からの講評

#### 《特に優れているポイントなど》

- 「新と旧」、「和と洋」とが調和した建物と庭園。ともに丁寧に維持管理されている。
- 築90年とされる主屋に台所部分を増築している。新旧建物の接続部分は、地元の大工による施工であり、空間的にも工夫がされている。建物前面のガーデニングでは、農家住宅の和風の植栽に、増築部分を意識した洋風の要素をうまく取り入れることで、建物の接続部分の印象をより自然なものとしている。
- 主屋のほか門や土蔵、庭などが一体的に良い状態で保存されていることで、地域の農村住宅の風景を見ることができる。

#### 《今後期待されること》

- ライフスタイルの変化を受け入れつつ、古いものを引き継いでいく姿勢が素晴らしい。管理が大変かと思われるが、今後も維持、継承されていくことを期待する。

## さくらの景観まちづくり賞 活動部門



佐倉城主ゆかりの湧水を  
地域で育み、維持し続ける

加賀清水公園の清掃活動  
(井野・井野町一区町内会)



### 佐倉市景観審議会からの講評

#### 《特に優れているポイントなど》

- 加賀清水公園の湧水は、江戸時代に第8代佐倉城主 大久保加賀守忠朝が江戸との往来の際に立ち寄って飲んだといわれ、街道の文化を考える上でも貴重な遺産である。この由緒ある湧水とその周辺全体が非常によく管理されており、特徴的な水辺空間が維持されている。
- 現在の良好な景観は、35年以上にわたる清掃活動を通じて作り出されたもので、その継続性が高く評価される。自然環境や歴史的な資産を継承し、市民が育み維持する景観となっているだけでなく、これらの取り組みを通じ、地域で暮らす人たちが交流する貴重な場を創出している。

#### 《今後期待されること》

- 今後も地域に対する愛着や誇りを醸成する場として、活動が継承されていくことを期待する。
- 若い世代の積極的な参加を得て、次世代につなげるとともに、この活動が基軸となり、地域におけるまちづくり活動に発展することも期待される。

## さくらの景観まちづくり賞 活動部門



旧宿場町の歴史的資源を  
地域の思いが守り、伝える

下総まわらし宿百観音の保全活動  
(馬渡・下総またわし宿百観音保存会)



### 佐倉市景観審議会からの講評

#### 《特に優れているポイントなど》

- 印旛地方一帯の集落において、出羽三山や三峰信仰などによる石碑や石仏などが建立されたとされるが、当該地のような規模で保全に力を注いでいる所は見当たらない。行政に依存する部分が大きい地域の歴史的資源の保全・管理について、地元主体による継続的な取り組みが行われており、地区のシンボルとなっている。
- 喪失・損傷していた多くの観音像を修復・復元するだけでなく、周辺の草刈りや清掃を定期的に行い、郷土色豊かな歴史的・文化的な景観を再生・維持していることが高く評価される。暗くなりがちな森の中を整備することにより、明るく見通しがきき、歴史的な雰囲気の中にも親しみやすい景観となっている。

#### 《今後期待されること》

- 今後も地域の歴史的資源を自分たちで守り、伝えるという活動を継続し、他地区のモデルとなっていくことが望まれる。
- ハイキングコースとしての活用も考えられる。地域の歴史をより多くの市民に知っていただく活動に発展することを期待する。

## さくらの景観まちづくり賞 活動部門



質の高い住宅地景観を  
維持・発展させ続ける地域の力

染井野地区 緑化活動等

(佐倉染井野 S1 地区建築協定運営委員会他)



### 佐倉市景観審議会からの講評

#### 《特に優れているポイントなど》

- 開発以来20年を経過する中、住民同士の協力のもとで、当初の基本コンセプトを維持している管理水準の高い景観。景観を維持するために日常的にパトロールや啓発活動などの取り組みを行い、協定の実効性を担保する活動を広く組織的に展開することで、発展的に維持・継承されている。
- 活動に関するPR活動にも積極的であり、活動を通じてまちなみの美しさを財産とする価値観が地域の住民に醸成されている。

#### 《今後期待されること》

- 今後、代替わりや相続に伴う課題も発生してくると想定されるが、時代の変化に対応しながら発展的に継続していくことを期待する。
- 協定の継続的な更新などに苦勞も多いと思うが、さまざまな取り組みから地域における理解を育んでいただけたらと思う。

## さくらの景観まちづくり賞 活動部門



市街地近郊に、四季折々の  
田園風景を楽しむ空間を創出

稲荷台ビオトープの保全活動  
(稲荷台・稲荷台ビオトープの会)



### 佐倉市景観審議会からの講評

#### 《特に優れているポイントなど》

- 都市化が進んでいる地域において、身近な水辺をビオトープとして保全することで、生物多様性の保全に貢献するとともに、田園風景の四季を楽しむ景観づくりが行われている。
- 継続的に人の手が入ることによって、生物相を保護しながら見た目にも快適なバランスのとれた景観が維持されている。

#### 《今後期待されること》

- 活動が地域の人々の楽しみとして継続するとともに、水路と隣接する雑木林や水田といった田園風景と生態系との一体的な保全の取り組みに発展することを期待する。
- 充実した会報誌の発行など、周知にも工夫が見られる。さらに、より広く市民の方に知っていただく展開などがあると、よりよい活動につながると思われる。